



マツチカ株式会社 SDGs宣言書

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年7月15日

マツチカ株式会社
代表取締役 松近 保司

◆経営方針

勇気・やる気・元気

◆目指す姿

土木工事、リサイクル事業、運送事業を通じて地域社会の発展に貢献できるよう日々活動してまいります。

SDGsの達成に向けた取り組み

多様な人材活用

性別、障がい、国籍、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

<具体的な取り組み>

社内の規程・方針の見直し（性別や障がい、国籍による給与、労働時間、待遇に関する差別の撤廃等）／採用条件等の見直し（適切な採用者男女比率、不適切な採用選考の撤廃）／社内教育を通じた周知／シニア人材、障がい者、Uターン者の再雇用など、働きたいと考えている人材の積極的な雇用を推進

— 関連ゴール —



ゴミ・廃棄物削減

未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。

<具体的な取り組み>

廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進／ペットボトル・空き缶の分別回収やリサイクル活動／廃棄物の管理体制の強化（廃棄物処理法の順守、廃棄物管理責任者の選任等）

— 関連ゴール —



省エネ・節電

CO2排出抑制のため、さらなる省エネ・節電を推進します。

<具体的な取り組み>

照明のこまめな消灯や待機電力の節約／LED化の推進／再生可能エネルギーの導入・利用推進

— 関連ゴール —



教育への貢献

自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。

<具体的な取り組み>

職業体験や出張授業の企画・実施／文化イベント企画・協賛（アートイベントやコンサート等）／地域のスポーツ振興、イベントへの参加・協賛

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

